

国際ロータリー第2640地区IM8組  
ガバナー補佐 岡 敬三 (堺東ロータリークラブ)



A) クラブ訪問考案

1. 各クラブとも会員数の減少が憂慮される。  
その上各クラブの格差の比較的大きいのに驚く。長所もあれば、短所もある。明るい、楽しいクラブと、暗く沈んでいるクラブも案外会員は自己満足している様に見かけるが、各クラブを訪問して、広い視野で各クラブを監察すれば分る。各クラブ会員の他クラブへのメーキャップをおすすめする次第である。  
女性会員の少ないクラブが多い。各クラブとも以後大いに努力されたい。
2. クラブ三大奉仕部門でも各クラブごとに特徴がある。国際奉仕に実績を上げているクラブ、全然奉仕をしていないクラブがある。特に社会奉仕は率直に理解しにくいし、実施には難しいようである。これにも各クラブで格差がある。
3. 各クラブとも独自の特徴を1～2つすることに配慮されたい。これが誇りうるものであれば素晴らしいではないか。
4. 各クラブとも前向きの姿勢が大切と思われる。親睦委員長には特に大切に、よい思い出を多く作っていただきたい。  
米山奨学会には特に深い御理解と努力を御願いたい。

B) 結論

品位を向上し、明るく楽しいクラブを第一と考える。これが最も大切と思われる、楽しいのは会員増強、出席率向上、退会防止に連動する。

以上

(RI第2640地区マンスリーレター・2008年4月号より)